

かしま 議会だより

第117号

令和6年3月定例会号

令和6年5月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



鹿島市民文化ホール (SAKURAS) と桜

| | |
|------------------|---------|
| 3月定例会 | P2～P3 |
| 議案審議 | P4～P6 |
| 一般質問(11名) | P7～P12 |
| 新年度予算審査特別委員会審査報告 | P13 |
| 総務建設環境委員会審査報告 | P13～P14 |
| 議会運営委員会行政視察報告 | P15 |
| 議会あれこれ／議長交際費 | P16 |



鹿島市のホームページも
ご覧ください。

鹿島市議会

検索

70th
Anniversary
KASHIMA

2024年は鹿島市制施行70周年



鹿島市公式アカウント
でのひら市役所



いまずぐ友だち追加!

鹿島市議会
令和6年3月定例会 会期日程

1、会期

自 令和6年2月22日
至 令和6年3月25日

2、日程

【2月】
22日・開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程

（市長の提案理由説明）

・教育長の教育委員会の

方針等に関する説明

・議案審議、質疑、討論、採決

23日・休会

24日・休会

25日・休会

26日・休会（議案研究）

・発言内容通告締切（正午）

27日・休会（議案研究）

28日・休会（議案研究）

29日・議案審議、質疑、討論、採決

【3月】

1日・休会（議案研究）

2日・休会

3日・休会

4日・議案審議、質疑、討論、採決

5日・常任委員会（議案審査）

6日・新年度予算審査特別委員会
（開会、市民部）

7日・新年度予算審査特別委員会
（総務部）

8日・休会（議案研究）

9日・休会

10日・休会

11日・新年度予算審査特別委員会
（建設環境部）

12日・新年度予算審査特別委員会
（産業部）

13日・新年度予算審査特別委員会
（教育委員会ほか、審査、
討論、採決）

14日・休会（議案整理）

15日・休会（議案整理）

16日・休会

17日・休会

18日・一般質問（3名）

19日・一般質問（3名）

20日・休会

21日・一般質問（3名）

22日・一般質問（2名）

23日・休会

24日・休会

25日・委員会審査報告

・議案審議、質疑、討論、採決

閉会

次のことを審議し決定しました

【令和6年3月定例会】

| | | 釘尾勢津子 | 宮崎 幸宏 | 笠継 健吾 | 中村日出代 | 池田 廣志 | 杉原 元博 | 樋口 作二 | 中村 一堯 | 松田 義太 | 勝屋 弘貞 | 角田 一美 | 伊東 茂 | 福井 正 | 松尾 征子 | 中村 和典 | 徳村 博紀 | 採 決 結 果 | |
|---------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|---------|----|
| 議案第1号 | 専決処分事項の承認について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第2号 | 令和6年度鹿島市一般会計予算について | ○ | ○ | × | × | 欠 | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第3号 | 令和6年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第4号 | 令和6年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第5号 | 令和6年度鹿島市給与管理特別会計予算について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第6号 | 令和6年度鹿島市水道事業会計予算について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第7号 | 令和6年度鹿島市下水道事業会計予算について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第8号 | 鹿島市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第9号 | 鹿島市債権の管理に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第10号 | 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第11号 | 鹿島市税条例の臨時特例に関する条例の廃止等に関する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第12号 | 鹿島市部設置条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | × | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第13号 | 鹿島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第14号 | 鹿島市税条例及び鹿島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第15号 | 鹿島市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第16号 | 鹿島市中小企業融資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第17号 | 鹿島市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第18号 | 鹿島市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第19号 | 鹿島市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 議案第20号 | 令和5年度鹿島市一般会計補正予算（第7号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第21号 | 令和5年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第22号 | 令和5年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第23号 | 鹿島市中村住宅整備事業の事業契約の変更について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |
| 議案第24号 | 鹿島市下水道事業審議会条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | 議長 | 賛成多数 | 可決 |
| 諮問第1号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 適任 |
| 諮問第2号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 適任 |
| 議員提案第1号 | 鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 | 賛成全員 | 可決 |

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席

議案審議

議案第19号

鹿島市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について



角田 一美議員

質問一 老朽管の更新経費は、どの位必要か。

答弁 埋設総延長の約半分の110kmが令和17年度までに耐用年数に達し、

老朽管の更新費用は約80億円が必要。

質問二 料金改定で老朽管の更新をどの位見込んで

答弁 老朽管の長寿命・平準化しても年間3億4千万円が必要。返済金

1億円減少で更新費用約2億円が不足する。

質問三 更新経費に対す

る国・県等の補助制度はないのか。国等への要望は実施されているのか。

答弁 国・県等の補助はない。日本水道協会を通じて補助制度を要請、市長会からも要請している。

議案第12号

鹿島市部設置条例の一部を改正する条例の制定について



中村日出代議員

質問一 市の条例は、鹿島市議会が議決して制定される鹿島市の法律。総務部は26年間何の支障も無く仕事の執行が出来て

いた。今改正の理由は。

答弁 組織は不断の見直しが必要。支障は無いが市政を引っ張っていくため。

質問二 政策、総務を一つにする複雑な組織となるが。

答弁 職員は増やさない。

議案第19号

鹿島市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について



伊東 茂議員

質問 水道施設の老朽化や料金収入が減少する中、更新工事に必要な財源が大幅に不足するため今後5年程度の収支の黒字を

維持するために15%の値上げを7月より実施の提案である。物価高騰が続く中、飲食店や市民の家計は苦しさが増している。水道事業審議会で料金値上げを回避する方策は検討されておらず、民間事業者との連携によるコスト削減も検討されていない。現時点での値上げは

回避すべきと考える。

答弁 更新費用は年間3億4千万円以上となる。これ以上料金改定を遅らせると今後30%以上の料金改定となるため今年実施したい。

議案第20号

令和5年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について



笠継 健吾議員

質問一 総務費寄付金は補正額2億8千7百万円増額で令和5年度累計寄付額10億9千7百万円となっているが、これはふ

るさと納税寄付金であるか。

答弁 ふるさと納税寄付金である。令和5年10月より返礼品の金額は、寄付額の5割以内から3割以内

に削減されたため令和5年9月までの駆け込み寄付が増加要因である。

質問二 ふるさと納税寄付金は鹿島市にとって貴

重な財源である。更に寄付金の増加を目指すためには魅力ある返礼品が必要であるが、どう対応するか。

答弁 魅力ある返礼品を作るため、委託業者とともに努力していきたい。

議案第20号

令和5年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について



勝屋 弘貞議員

質問 明倫小学校体育館の改修工事があった。しかしながら、依然として雨漏りがして困っていると父兄から話を聞いた。

答弁 早急に確認する。

(後日、特別委員会での答弁・担当業者に調査及び修繕を工事の補償の範囲内で現在依頼をしている。)



能登半島地震の被災地に義援金を送りました。

鹿島市議会は、令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた被災者への支援の一助として、平成27年に行政視察でお世話になった輪島市と珠洲市に対し、1月25日に議員親和会から義援金として各市に8万円を送りました。

議員一同、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

一般質問に11人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信！

3月18日、19日、21日、22日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

【3月18日】



福井 正 議員
松尾 征子 議員
釘尾 勢津子 議員

【3月19日】



中村 一堯 議員
中村 日出代 議員
樋口 作二 議員

【3月21日】



杉原 元博 議員
角田 一美 議員
松田 義太 議員

【3月22日】



宮崎 幸宏 議員
勝屋 弘貞 議員

新年度予算審議 討論

賛成討論

中村 一堯 議員

一般会計予算総額は148億4000万円、編成されており、前年比6億6900万円の減となっている。

歳入では個人住民税が8700万円の減だが、ふるさと納税などの基金を活用した事業執行になっており、歳出では人件費増、扶助費増となっているがDX推進、SDGs関連の交付金を活用した予算案となっている。

物価高や人件費増で厳しい財政運営ではあるものの、初めてふるさと納税が10億円を突破して明るい兆しも見えてきた。

学校関係の事業費を削ることに厳しい意見も出たが、新年度に入りその影響を検証するという方針も出されたので、検証することを要望して賛成討論とする。

角田 一美 議員

議案第2号から第7号まで賛成の立場で討論する。

第2号議案の令和6年

度一般会計当初予算案は、人口減少対策、空家対策、防災・減災、安全・安心なまちづくり、デジタルの推進、脱炭素社会の構築など新しい時代への対応もなされている。

人件費等の義務的経費の増、物件費を含む消費的経費の増の中で工夫された予算となっている。

第6号議案の令和6年度水道事業特別会計予算案は、19年ぶりの水道料金の値上が予定されており、今後急増する老朽管の更新経費3億4千万円が計上され、問題を先送りできないと判断し賛成とする。

福井 正 議員

令和6年度一般会計当初予算について、賛成の立場である。当初予算は148億4千万円、住民サービスの維持、鹿島市の地域性・地域力を活かした地方創生のまちづくりの為各種事業を実施する予算である。歳入は定額減税で個人住民税が増額されるが、地方交付税が増額される。このことで住民サービスに寄与する

予算である。デジタルトランスフォーメーション(DX)推進で事務量の減少が見込まれ、住民サービスの向上が見込まれる予算であり、よって令和6年度当初予算に賛成する。

反対討論

中村日出代 議員

一般会計の中で、市内全7小学校の用務員業務委託料686万6千円の削減。学校現場は困惑をきたしている。用務員の仕事は朝6時30分頃に来て校内の出入り口の鍵を開けて校内の清掃、傷んでいる施設の修理、子供達の安全安心確保の校内巡回。この業務が4月1日から突然無くなる。学校現場で一番重要な子供達の安全安心が不安となる。又高齢者の仕事を奪う。弱い立場の子供達、高齢者へ思いやりが全く感じられない予算の削減。このような予算には反対する。

伊東 茂 議員

新年度水道事業会計予算は本年7月からの料金

改定15%の値上げが盛り込まれている。今回の料金改定は老朽管路の更新に今後約80億円近くの工事が必要となるため、布設替え事業費を確保するための料金改定と説明を受けた。しかし、相次ぐ物価高騰に市民の家計や飲食店など、どこも厳しい状況である。水道事業審議会は値上げを前提とした諮問を受け、料金を維持し、コスト削減に取り組み検討はされていない。全国の自治体は民間事業者との連携による効率的な業務の活用に取り組んでいる。事業計画の見直しを求め反対とする。

松尾 征子 議員

無駄な大型事業はやめよう 鹿島駅前開発事業が始まった。この事業が鹿島市の発展につながるなど考えられない。国が進めるDX事業。便利な生活が送れるよう取り組むというが、経済的な保証がなければ、便利なだけでは市民は安心して生活できない。農漁・商人、働きに出ている人、大半

の市民が暮らしに行き詰っている。借金してでも子供の給食費だけはと頑張る母親。財源の問題と学校給食費の無料化はやらない。公平公正は市政の原点で。同和事業は今年も事業丸抱えの補助金。無駄なものから市民の暮らしを守る市政を。料金値上げは許せない

老朽化した水道管の修理が来るということ。現在水道会計は黒字なのに15%の値上げという、今でも高齢者家庭などは基本水量も使わないで料金を払っている。給配水については受益者が払うのは許せる。しかし、水は市民の命と暮らしを守る為なくてはならないもの。施設整備については行政が責任を持たなくてはいけない。国や県は水道事業に對し何の財政援助もしていない。国や県に財政援助を要求して市民の暮らしを守ることを。老朽管の修理を理由に黒字である今、料金の値上げは許せない。



福井 正 議員

鹿島市の地震対策について

鹿島市の公共施設の耐震対策について

本年元旦に能登半島で起きた地震と津波で140数名が亡くなれば負傷者多数、家屋や道路橋脚が破壊されいまだに多数の方が避難されている。鹿島市にも西葉断層が存在し、地震の可能性が無いとは言えない。地震への備えが必要である。鹿島市の地震対策について質問した。

質問一 鹿島市の公共施設の耐震対策の状況は。

答弁 令和元年に、市庁舎の耐震診断を行い震度6〜7で倒壊または崩壊の恐れが診断であった。庁舎の耐震化は、令和7年度までに方針と実施時期を決定したい。

質問二 電力・通信・防災無線の確保は。

の耐震方針に従って対策されている。

地震時の避難について

質問一 地震時の避難と避難訓練についての考えは。

答弁 鹿島市防災マップを全戸配布しており先ず「慌てずに身の安全を確保」次に避難所などに移動、倒壊の恐れがないスペースに移動、その後家が危険な場合、避難所へ移動する。

質問二 避難所運営について避難所の運営主体は誰か。プライバシー確保の準備はあるのか。

答弁 避難所運営は地区対策部の職員が行う。避難所のプライバシー確保のため、ワンタッチパーテーションを321個確保している。

質問三 観光客などの避難はどのよう



災害ボランティア

難はどのようになっているのか。



松尾 征子議員

現行国民健康保険証の 存続を

健康保険証の 存続を

質問一 今年秋、健康保険証を廃止してマイナンバーカードに一本化する
ことになると。しかし、すでに登録の誤りや情報が漏れたり「資格無効」と表示がされたり、マイナンバー保険証に関するトラブルが多く発生している。誤った紐づけによる
投薬、診療情報の取違えなどもあり、重大な医療事故につながる恐れもあるといわれている。保険資格が確認できず窓口で10割負担させられた例もあるという。いつでも、だれでも安心して医療が受けられる今の保険証の廃止は許されない。今の保険証の存続を望むものだがマイナンバーカードを作成していなかったらどのようにして医療を受

けるのか。
答弁 5年12月に6年12月に廃止することを閣議決定した。現在の保険証は有効期限までは使用できる。マイナンバー保険証のない人は資格確認証が発行される。これは5年間の有効期限になる。6年度に発行された保険証は7年7月2日までは有効である。

質問二 資格確認証は有効期限5年ということだが期限が来たらどうなるのか。すでにマイナンバー保険証は全国的にも問題やトラブルが多く発生している。現在の保険証を存続させること。
答弁 その後については国からの説明指導はあつてない。

小中学校の体育館に空調設備を

質問 学校体育館への空調設備が課題になってい

る。国も設置については特別の対応に出た。これまでの建設のための補助率3分の1を23年度から25年度まで2分の1ということだ。鹿島市において空調設備の設置は必要と思われるのか。鹿島市の取り組みは。
答弁 今後必要だとは思っている。今学校の普通教室は空調施設が完備されている。しかし、理科教室、音楽教室など特別教室には完備されていない。今、改修の問題などもありそこが優先され、今の時期に空調施設の設置は難しい。

調設置が課題になっている。国も設置については特別の対応に出た。これまでの建設のための補助率3分の1を23年度から25年度まで2分の1ということだ。鹿島市において空調設備の設置は必要と思われるのか。鹿島市の取り組みは。
答弁 今後必要だとは思っている。今学校の普通教室は空調施設が完備されている。しかし、理科教室、音楽教室など特別教室には完備されていない。今、改修の問題などもありそこが優先され、今の時期に空調施設の設置は難しい。



釘尾 勢津子議員

市民の安全安心のために

質問一 鹿島市における災害対策の現状とその見直しについて。
答弁 平成7年の阪神淡路大震災や平成23年の東日本大震災を受け、「日本全国どこでもM7クラスの地震が起り得る。」という考え方に基つき、国の防災計画、県の地域防災計画が見直され、鹿島市においても地域防災計画を改正し、地震の想定規模を、「震度6強〜7」とした。
幹線道路については、今回の能登半島地震での物資支援を見ると、緊急車両の渋滞を減らすため、大型車でまとめて物資を輸送する方法が行われた。有明沿岸道路の福富鹿島道路及び鹿島諫早間は、地震や水害時の救援物資等の緊急輸送道路として必要なため、早急に整備する必要がある。ヘリポートは、現在蟻尾山公園や小中学校の運動場など市内18ヶ所の施設を防災ヘリやドクターヘリポイントと指定し、各校区に1ヶ所は指定できている。インフラの老朽化については、水道施設の更新・耐震化の計画を今年度策定した。令和6年度から計画に基づき整備を進める。
下水道施設については、平成28年度にストックマネジメント計画を策定し、翌年度から同事業に取組んでいる。
市道については、1級、2級、その他を含め371路線349kmで、河川等に架かる市道橋315橋も含めて管理している。道路は「公共施設等適正管理推進事業」により、橋梁は「鹿島市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき補修補強に取組

んでいる。
質問二 消防団の活性化について。
答弁 消防団員の条例定数670人に対し実数649人で充足率96・8%。広報活動は、訓練・式典の市報掲載や県内全体で新聞でのPR活動を行っている。市HPの充実や市報への特集の掲載等工夫が必要と考える。



出初め式



中村 一堯議員

松尾市長の 市政運営について

市長就任から2年間の 取り組み、実績について

質問 鹿島市のトップとして、鹿島市民文化ホール、サクラスのグラウンドオープンをはじめ、JR長崎本線の利用促進、SDGsやDXの取り組みなど精力的に活動されてきたと思うが、この2年間の取り組みや実績は。
答弁 就任直後から、職員には「市民目線」「連携」「男女共同参画」を念頭に職務にあたるよう指示して行政運営を行なってきた。「市民目線」では、昨年度市長と語る会を各地区で開催、本年度は鹿島高校生と語る会と市PTAと語る会を開催し、いろいろな課題や要望を聞いて出来ることはすぐに市政に反映した。「連携」では、近隣の自治体や佐賀県、市長会で

連携しながら政策要望活動を行なってきた。有明海沿岸道路促進、国道498号整備については少しづつ前に進み始め、JR長崎本線の利用促進の取り組みで普通電車の増便に繋がった。「男女共同参画」では、鹿島市は率先して取り組んできた。市役所職員女性の管理職と役職段階の割合を上昇させた。

選挙公約や今後の 推進事業について

質問 選挙公約として掲げられていた「子育て世代への支援拡充」「交通アクセス網の整備」「ICT活用」などの取り組み状況と今後の推進事業についてどう考えているか。
答弁 「子育て世代への支援拡充」として、高校生の医療費助成について

真つ先に取り組んだ。現在は500円で病院の診察や処方箋などが受けられるようになった。「交通アクセス網の整備」では、環有明海地域で連携促進し有明海沿岸道路の鹿島側からの整備が決定した。また国道498号における嬉野市との連携も順調に進んでいる。「ICT活用」ではDX推進室を設置して、生成AIやビジネスチャットを導入した。今後はDXやSDGs関連の交付金を活用して先進的な取り組みで鹿島市を活性化させていく。



中村 日出代議員

令和5年度、私が問題提起し「検討する」と答弁のあった検討結果について

環境課の 設置について

質問 不法投棄があると連絡したら、ゼロカーボンシティ推進課が来た。「なしゼロカーボンシティ推進課やるのか」「わかん」と多くの声がある。環境ゼロカーボンシティ推進課にできないのか。
答弁 令和6年度から環境が入った名称で設置する。

小学生へのランドセル用「保冷剤パッド」の配布について

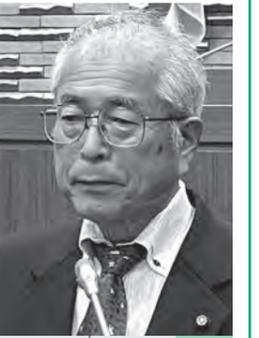
質問 不法投棄があると連絡したら、ゼロカーボンシティ推進課が来た。「なしゼロカーボンシティ推進課やるのか」「わかん」と多くの声がある。環境ゼロカーボンシティ推進課にできないのか。
答弁 令和6年度から環境が入った名称で設置する。

本松児童遊園は夏休み期間を除いて9月から10月には終了する。
質問 兵庫県たつの市の小学生が「毎日暑いです。ランドセルが重く、フラフラします。」と市長に直訴した。それを受けて市長は市内全生徒に保冷剤付パッドを配布した。新一年生は3月31日まで幼稚園生です。4月からあの重いランドセルを肩に通学をする。直ぐに夏がきます。小さい体の新一年生は市内全生徒数241名。汗だくで朝夕通学している姿を想像するだけで可哀想になります。何とか新一年生だけでも支援して貰いたいと要望した。新一年生に係る予算は背あて保冷剤付パッド3、190

肥前鹿島駅周辺 整備事業について

質問 母ヶ浦児童遊園は遊具が一台も設置されていない。その後の進捗状況と二本松児童遊園はいつ整備されるのか。
答弁 四連プランコは6年度の4〜5月に修繕をする計画。新遊具は地元と協議し進めていく。二

円×241名≒76万8、790円。これまで予算が無いとの回答。今年度予算に計上されているか。
答弁 予算計上されていない。
質問一 予算委員会でも質問したが新年度予算に基本設計2、000万円が計上されている。新たに業務委託したのか。
答弁 これまでの契約は解約した。
質問二 解約の金額は。
答弁 1、800万円。
質問三 解約金合計3、000万円以上となり、会社は大きな損失。理由は。
答弁 双方合意している。



樋口 作一議員

道の駅鹿島と

これからの鹿島市

道の駅鹿島の変遷
道の駅鹿島の立地箇所はどのようにして生まれたのか。

答弁 昭和51年、中川水系を中心とした水害等で発生した残土処分場として、岩盤の堅い七浦地区の海岸が埋め立てられた。

質問一 道の駅鹿島は、どのように進展してきたのか。

答弁 フォーラム鹿島等の尽力により開催されたガタリンピックの成功を受けて、朝市による地元生産物の販売から次第に進展、平成4年に千葉市が進展、平成4年に千葉市がオープンした。現在の施設は七浦地区振興会により建設され、平成29年新株式会社七浦による経営に移行した。道の駅に必要な休憩、情報発信、地域振興機能を備えているとして佐賀県第1号の

認定となり、鹿島市と千葉市等を経営する株式会社七浦と連携して道の駅事業を展開している。

質問二 道の駅は、鹿島市政にどのように貢献しているのか。

答弁 客層は、県内をはじめ、福岡県や熊本県など有明海沿岸道路を利用した来訪者も増加している。商品は、海を埋め立てて立地した思いから、有明海の海産物販売を念頭に置き、地元産品を中心としながら市外の物品も受け入れ、道の駅のリーダーとして交流人口の拡大を図っている。

質問一 様々な施設をどのように運営・充実させていくのか。

答弁 九州各県から来訪者の多い干潟交流館「な

な海」で有明海について学び、干潟体験や棚ジブ等で有明海の生き物と触れ合う環境教育の場としたい。また、観光は無論、高齢者見守りや買い物難民対策の千葉市号、防災拠点施設としての充実も図りたい。

質問二 鹿島市は道の駅鹿島をどのようにとらえているのか。

答弁 観光の拠点として、また太良町との連携や有明海沿岸道路の拡張、有明海再生や生物多様性環境の伸長など様々な伸びしろがあるととらえている。



千葉市号



杉原 元博議員

若者政策と高齢者福祉

「若者政策」について

質問一 若者が抱える不安やリスクを行政はどう捉え、どのような課題があるのか伺う。

答弁 生活困窮、虐待、精神疾患等生育環境に困難を抱える若者は相談者のうち7割超。家庭、行政、学校、企業、地域等が相互に協力連携し、社会全体で支援を届けていく必要がある。

質問二 その良い例が「企業説明会」である。参加された高校生や企業の反響や感想は。

答弁 学生からは好意的な意見がある一方で、参加企業からは前向きな意見の他「参加者が少ない、集める工夫が必要、学校との連携、開催時期の検討を」等厳しい意見もあった。

質問一 若者が抱える不安やリスクを行政はどう捉え、どのような課題があるのか伺う。
答弁 若者の引き籠もり等、ご家庭の問題は福祉課の家庭相談員等との連携で対応。ケースによっては、武雄市の「武雄サポステ」にも支援を繋ぐようにしている。
質問四 若者の活力を活かし、地域を活性化するために若者の社会参画の推進について聞く。
答弁 R6年度「地域おこし協力隊」を導入し、移住定住の増に向けた活動を始める。又、県や太良町と協力した「KATAラボ」では、地域の宝探しやネットワーク作りを行い情報発信に取り組む。

質問二 買い物だけでなく健康づくりの面でもこの事業を有意義に活用していただきたい。
答弁 高齢者の見守りや安否の確認ができる他、外出支援や引き籠もりの防止、利用者同士やボランティアとの交流により孤独感が解消される等の効果、又季節ごとの花々の見学など、季節に合わせたドライブは大変好評。
質問三 運行地域を拡大して欲しいとの声を聞く。
答弁 新たな地域から要望もある。社協と地域の話し合いの中で準備が整えば運行される。



角田 一美議員

鹿島市民の安全安心の対策

安全安心の交通網の整備促進について

質問一 国・県道の道路網再編に関する覚書事項の確認と移管時期を問う。

答弁 市道移管対象の7路線中3路線が移管終了。残り4路線については、県道肥前鹿島駅前線の整備が完了時点で移管予定。危険箇所等を現地立会いし納得の範囲内で要望する。

質問二 都市計画道路の未着手路線が多い。今後の整備方針を問う。

答弁 全体の8割程度の進捗。過去浸水対策に重点を置き多額の財源を要した。乙丸・吹上線は市内を南北に走り市街地を結ぶ骨格路線と認識。歩道が狭く不便な路線もあり、優先順位を考慮し随時検討していく。

質問一 市内529カ所の危険箇所の防災対策工事の進捗状況を問う。
答弁 急傾斜地崩壊危険箇所443カ所、土石流災害危険箇所82カ所、地すべり危険箇所4カ所の計529箇所が危険箇所指定。急傾斜地崩壊防止法上の危険箇所は27カ所あり県工事として実施完了済。市が事業主体の県単独事業は18地区67世帯が完了。

質問一 市内529カ所の危険箇所の防災対策工事の進捗状況を問う。
答弁 急傾斜地崩壊危険箇所443カ所、土石流災害危険箇所82カ所、地すべり危険箇所4カ所の計529箇所が危険箇所指定。急傾斜地崩壊防止法上の危険箇所は27カ所あり県工事として実施完了済。市が事業主体の県単独事業は18地区67世帯が完了。



松田 義太議員

鹿島市が直面する政策課題について

鹿島市の防災対策について

質問一 災害時の、国、県、各自自治体、関係機関、民間事業者との応援協定の現状について。

答弁 災害時の応援協定については、嬉野市、太良町との協定のほか、長崎本線沿線の江北町から諫早市まで5市町、県及び県内全市町の21者による職員派遣や物資支援の協定を締結し、九州全市と全国全市で職員派遣等の支援申し合わせを行っている。また、鹿島市建設業協会をはじめ、24の民間団体等との応援協定を締結している。

質問二 災害発生時、協定に基づく支援体制のシミュレーションは毎年実施されているのか。

答弁 佐賀県及び県内全市町との応援協定に基づ

質問二 能登半島地震被災地支援として職員派遣が行われているが、派遣された職員から見えた災害時の課題について。
答弁 派遣した職員に聞き取りを行ったところ、「水」の確保が一番の課題。鹿島市の備蓄計画では、人口の5%の避難者へペットボトル2本をすぐに配布できるように備蓄し、上水道貯水池で水を汲み配布できるように100の飲料水袋を745個(避難所一箇所につき約

30個)備蓄しているが、道路が使用できない場合も考慮して備蓄数量を見直したい。
質問 市内公共施設管理のDX導入及び、先進DX活用、ICTによる業務効率化を進めていくには、特に高齢者、デジタル弱者へのケアが大事である。スマートフォンライン教室等市民に行き届く取組みをお願いしたい。
答弁 出前講座など積極的に取り組みたい。



リモートロック (有田町体育センター)

令和6年3月13日

鹿島市議会
議長 徳村博紀 様

新年度予算審査特別委員会
委員長 松田義太

新年度予算審査特別委員会 審査報告書

令和6年3月4日の本会議において付託されました下記6議案については、3月6日、7日、11日、12日及び13日に質疑審査を行いました。

審査の結果は、下記全議案について、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、会議規則第98条の規定により報告します。

記

- ・議案第2号 令和6年度鹿島市一般会計予算について
- ・議案第3号 令和6年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- ・議案第4号 令和6年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
- ・議案第5号 令和6年度鹿島市給与管理特別会計予算について
- ・議案第6号 令和6年度鹿島市水道事業会計予算について
- ・議案第7号 令和6年度鹿島市下水道事業会計予算について

【議案第8号 総務建設環境委員会審査報告】

2月29日の本会議において総務建設環境委員会に付託された『議案第8号鹿島市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について』、3月5日に委員会を開催し、採決の結果、全員起立で可決された。

(執行部からの説明要旨)

法律により、国が定める書面・対面で行う事とされている手続きは、所謂デジタル手続法により、オンラインでも行う事が出来るように整備されており、システム対応ができたものから、オンラインでの手続きが可能となっている。一方で、デジタル手続法の適用を受けない、市の条例や規則に基づく手続きについては、書面・対面での様々なものがあり、手書き・郵送・市役所窓口での申請等、多くの時間を要するものとなっている。市民の皆様の利便性向上や行政運営の簡素化・効率化を図るために、市が定める手続きについても、オンラインで行う事が出来るよう条例を制定するものである。施行期日は公布の日から。

(主な質疑応答内容)

【質問】他人のカードを使ってなりすまし等が起こる可能性が有ると思うが、その対応は。

【答弁】様々なセキュリティが施されており、安全に利用できるものと考えている。不正に情



宮崎 幸宏 議員

国道207号鹿島バイパスの沿道開発
のための都市計画の見直し

質問 国道207号鹿島バイパスの沿道開発

質問 鹿島バイパスの沿道開発により経済、産業、観光面で多様な効果が見込まれ、さらに有明海沿岸道路が完成し鹿島バイパスと連続することで、より効果が増幅することが期待される。鹿島市の発展のためには積極的なバイパスの沿道開発を進めるべきではないか？

答弁 鹿島バイパス沿道は農業振興地域であるため、転用案件毎に農業振興地域から除外し農地から宅地に転用をしなければならぬ。よって、農地保全を前提とし、現行法との調整を図りながら土地利用を促進していく。

鹿島市都市計画マスタープランの見直し

質問一 現行の都市計画

と農業振興地域整備計画の策定から約50年が経過している。人口増加、経済成長していた時代から人口減少、少子高齢化、労働者不足等の社会情勢が顕著に変化しているにもかかわらず、鹿島市の都市基盤となる都市計画、農業振興地域整備計画がほとんど変わらず事業を進めようとしている。時代の動向や社会環境の変化に因應される鹿島バイパス沿道の土地利用を含めた都市計画マスタープランに見直すべきではないか？

答弁 有明海沿岸道路等の整備動向を見据えながら、当面の間は現行法での土地利用を行い、将来的には鹿島バイパスの沿道サービス機能の立地を検討する。

質問二 鹿島バイパスの沿道開発は、鹿島市の経

済活性化、産業振興、観光促進、雇用拡大、税収対策等の重要施策であり、バイパスの沿道開発により鹿島市が県南部地域における商圏、経済圏の中核都市になりえる。都市計画におけるアドバンテージかつポテンシャルがある鹿島バイパスを活かした鹿島市の将来に向けたコンパクトなまちづくりをどのように考えているか？

答弁 鹿島バイパスの沿道開発の重要性は認識している。しかしながら、バイパスの沿道開発については、現行法との整合性や排水等のインフラ整備などの課題があるため慎重に検討しながら、安心安全でコンパクトなまちづくりに取り組んでいく。



勝屋 弘貞 議員

「DX」「脱炭素」のさらなる加速とは

質問一 「DX」「脱炭素」のさらなる加速とは。

答弁 デジタル技術の浸透によって住民の生活をより良いものに変革していくものが「DX」。単に効率化、コスト削減ではなく業務のあり方を見直す。働き方・組織の変革によって人口減少・少子高齢化の中でも行政サービスを持向上させる。市民生活の利便性向上に繋げていくこと、市民が便利になった、よかったと実感・共有してもらうことが重要。

1月に公式LINE機能を実施し、情報・行政手続きがスマートフォン一つで、いつでもどこでも可能となるようにリニューアルした。国策として進められており交付金を利用して先進的事例を参考にして、遅れないよういろいろな取り組みで

いく。「脱炭素」では持続可能な循環型社会を進めるうえで非常に有効な事と判断し、サントリーグループとペットボトル(Pb)の「水水平リサイクル協定」を結んだ。新たにPbを製品化するより約60%のCO₂削減効果がある。国内回収率9割強中約3割が水平リサイクル。鹿島市では年間60tのPbが、良好な状態、良い品質として取引されており、分別については今まで通りに協力を

お願いする。質問二 鹿島市におけるスローツーリズムについて。答弁 鹿島ならではの魅力・宝を磨き上げ発信し、鹿島ならではの文化・自然環境をフルに活用してスローツーリズム・誘客に繋げたい。鹿島駅に「まち宿」を作ることになっていく。旅行というより、長期滞在をしてもらい、ここを軸足にして様々な体験をしてもらう。「鹿島ならではの」にしっかりと取り組んでいく。



第4次 鹿島市環境基本計画 概要版

2024年3月 佐賀県 鹿島市

【議会運営委員会行政視察報告】

●日程

令和6年1月16日（火）～18日（木）

委員長：中村一堯

委員：福井正、角田一美、池田廣志、中村日出代

オブザーバー：徳村博紀議長

兵庫県西脇市議会 人口約38,200人 議員定数16人

●議会改革の取り組みについて

議員3人1チームで自治区ごとに訪問し、市民に説明と市民からの意見などを聞く方式で、議会報告会が2年間で80回行われていた。高校生議会も開催され、主催者教育に熱心でした。

情報共有として、議会及び委員会のインターネット中継（録画）が行われ、議会だよりは画像を使い、わかりやすく理解しやすく工夫されていました。



西脇市議会行政視察

京都府亀岡市議会 人口約86,800人 議員定数24人

●議会改革の取り組みについて

特徴的な議会の取り組みで街頭インタビューがあり、子育て世代をターゲットに公園や子供が集まる場所へ突撃してインタビューするものです。また、子ども議会見学など新しい取り組みがなされていた。

そのほか、議会運営委員会で議会改革・活性化の検討をされ、4年任期のうち1～2年目に議会活性化の検討、3～4年目に議会基本条例の検証を実施されていた。



亀岡市議会行政視察

兵庫県宝塚市議会 人口約222,000人 議員定数26人

●議会改革の取り組みについて

宝塚市議会議員26名中14名が女性で、女性活躍社会が進んでいる市議会。

平成23年から反問権を基本条例に明記し、市政上の論点を明確にして議論を進め、議員間討議も実施されており、討議に時間をかなり使われていた。

また、議会だよりでは、女性の視点を取り入れた紙面づくりや、子供やお年寄りが見やすいような議会だより作りを心がけておられ、非常に参考になった。



宝塚市議会行政視察

報を盗み出そうとすると、カードに搭載されているICチップが壊れるようになっており、情報にアクセスできないようになる。

【質問】実際のシステム稼働は、本年7月から対応できると考えていいのか。

【答弁】書かない・待たない窓口の対応は、来年2月頃になるかと思う。通常の住民票等のオンライン申請は、今年の7月頃に構築して8月頃から運用できればと考えている。

【質問】市民への周知と、オンラインに不慣れな人たちをいかにフォローしていくのかが、行政の役割だと思うが、どう考えているのか。

【答弁】なるべく多くの市民の方にシステムを利用していただき、利便性を実感していただきたい。令和6年度からは、公式LINEの登録操作等の講座を追加して、必要な方には出向いて説明するなど、デジタルに不慣れな方についても対策をしていきたい。

【議案第9号 総務建設環境委員会審査報告】

2月29日の本会議において総務建設環境委員会に付託された『議案第9号鹿島市債権の管理に関する条例の制定について』、3月5日に委員会を開催し、採決の結果、全員起立で可決された。

（執行部からの説明要旨）

市の債権の管理は各法令及び条例に基づき行うものであるが、債権の管理に関し、包括的かつ訓示的な規定を設ける事により、市の債権に係る管理の一層の適正化を図るため、この条例を制定する。

条例の概要について、(1)市長は債権の管理体制及び台帳を整備し、適正かつ効率的な市の債権の管理に努めなければならない。(2)私債権に関する個別規定として、①地方自治法施行令第171条から第171条の4までの規定に定めるところにより、督促・強制執行その他その保全及び取り立てに関し必要な措置をとり、同171条の5から第171条の7までの規定に定めるところにより、その徴収停止、履行期限の延長又は当該私債権に係る責務を免除する事が出来る事としている。②それでも回収する事が困難である事由に該当する私債権については放棄できる事とし、放棄した場合は、議会に報告する事とする。施行期日は公布の日から。

（主な質疑応答内容）

【質問】市の債権に関し、一層適正化を図るという事だが、あまり拘束力がないのでは。

【答弁】地方自治法施行令に基づきしっかりと対応を行い、鹿島市全体として、適正かつ効率的な債権管理に努めていく。

【質問】特に市税について、滞納額は固定しているが、今回の条例化により、督促手数料も延滞金も全て法定通りに徴収するのか。

【答弁】この条例が決まったから厳格化する事ではなく、税法上の規定に基づき、粛々と行われていくものと考えている。

【質問】今回の条例制定でどこが変わっているのか。前とほとんど変わってないのでは。

【答弁】全体的な市の債権について横断的に適正な管理に努めていくのが一つ。もう一つが、私債権の放棄についても大きな目的になるかと思っている。

議会あれこれ (令和6年1月~3月)

1月

- 5日 議会だより編集会議
文教厚生産業委員協議会
- 10日 全員協議会
- 12日 佐賀県市議会議長会
- 15日 議会だより編集会議
- 16日 議会運営委員会行政視察 (~18日)
- 19日 全員協議会
- 22日 文教厚生産業委員協議会
- 23日 総務建設環境委員協議会
- 24日 議会報告会
- 29日 環境未来都市特別委員協議会
- 31日 環境未来都市特別委員協議会

2月

- 5日 議会運営委員会
- 8日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 9日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
地域交通まちづくり特別委員協議会
- 13日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会代表者会議
佐賀県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会
杵藤地区広域圏組合議会勉強会
- 14日 鹿島・藤津地区衛生施設組合2月定例会
- 15日 議会報告会プロジェクト会議
肥前鹿島駅周辺事業説明会
- 19日 杵藤地区広域市町村圏組合2月定例会
- 20日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
議会運営委員会
- 22日 3月定例会 開会 (~3月25日)
全員協議会
- 26日 佐賀県西部広域環境組合2月定例会
- 29日 3月定例会 議案審議

3月

- 4日 3月定例会 議案審議
- 5日 総務建設環境委員会
- 6日 新年度予算審査特別委員会 (~13日)
- 7日 臨時議会運営委員会
- 18日 3月定例会 一般質問 (~22日)
- 21日 臨時議会運営委員会
- 22日 全員協議会
- 25日 全員協議会
3月定例会 閉会
全員協議会
- 28日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会

行政視察受入状況(令和6年1月~3月)

- 1月22日 裾野市議会 真政会 (4名)
- 2月 1日 東松山市議会 きらめき市民クラブ (6名)
- 14日 春日市議会 市民共生委員会 (7名)
- 19日 遠賀郡町長会・議長会 (9名)

議長交際費を公表します。

金額単位：円

| 区分 | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 合計 | |
|-----|----|--------|----|--------|----|-------|----|--------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 弔意 | 1 | 22,000 | 1 | 22,000 | 0 | 0 | 2 | 44,000 |
| 見舞い | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 祝儀 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 会費 | 2 | 10,000 | 1 | 5,000 | 1 | 5,000 | 4 | 20,000 |
| 接遇 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3,630 | 1 | 3,630 |
| 合計 | 3 | 32,000 | 2 | 27,000 | 2 | 8,630 | 7 | 67,630 |

編集後記

令和5年度かしま議会だより編集委員会も最後の編集委員会となりました。

委員の釘尾勢津子・池田廣志・松田義太・福井正と中村和典副議長で編集を担当いたしました。文字数や漢字の変換ミスなどのチェック、表紙の写真撮影などを行ってまいりました。できるだけ読みやすくわかりやすい記事を目指してまいりました。ご満足いただけたかわかりませんが、精いっぱい努めました。ご愛読いただき誠にありがとうございました。

令和5年度 かしま議会だより編集委員会

- 委員長 福井 正
- 副委員長 池田 廣志
- 委員 釘尾勢津子
- 委員 松田 義太
- 顧問 中村 和典

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。